

平成 22 年 2 月

江差信用金庫の経営内容について

(平成 21 年 12 月末 現在)

お客様 各位

当金庫の平成 21 年 12 月末現在における、主要計数、重要指標等について次のとおりお知らせいたします。

四半期毎の情報開示につきましては、直近の経営実態をお取引先の皆さまにいち早くお伝えすることで、当金庫の健全性・安全性をご理解いただき、安心してお取引いただくために、任意で開示させていただいているものであります。

今回公表させていただいた計数は、12月末時点において、3月期末決算とほぼ同様の決算処理を行い算出しております。

なお、信用金庫における法定の決算は3月期末のみであり、開示債権をはじめとする計数等については監査法人等の監査を受けていないことをご承知おきください。

江差信用金庫
理事長 渡邊捷美

■ 営業店一覧

本店 営業部	桧山郡江差町字本町132番地	0139-52-1036
上ノ国支店	桧山郡上ノ国町字大留244番地の9	0139-55-2616
熊石支店	二海郡八雲町熊石根崎町115番地の1	01398-2-3026
乙部支店	爾志郡乙部町字緑町399番地の1	0139-62-2034
厚沢部支店	桧山郡厚沢部町新町92番地の2	0139-64-3231
福島支店	松前郡福島町字福島53番地の1	0139-47-2022
奥尻支店	奥尻郡奥尻町字奥尻809番地	01397-2-2525
函館支店	函館市松陰町23番4号	0138-53-3221
松前支店	松前郡松前町字福山50番地の1	0139-42-2727
七重浜支店	北斗市七重浜2丁目28番11号	0138-49-1671



URL (ホームページ) <http://www.e-shinkin.co.jp>

平成21年度（平成21年12月期）第3四半期の概況
（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

■ 損益の状況

○ 21年12月期時点の損益は、「業務純益」445百万円、「経常利益」436百万円、「四半期(当期)純利益」346百万円となりました。

前年同期に比べ運用資産の減少及び利回り低下から資金利益は減少しましたが、退職給付費用等の業務費用の減少が上回り、四半期(当期)純利益で前年同期比101百万円の増益決算となりました。

単位：千円・%

	21年12月末(A)	20年12月末(B)	増減額 (A)-(B)	増減率
業務純益	445,914	165,041	280,873	170.18
経常利益	436,152	154,265	281,886	182.72
四半期(当期)純利益	346,965	245,860	101,104	41.12
コア業務純益	445,914	391,806	54,108	13.81

(注) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券売却益－国債等債券償還益＋国債等債券売却損＋国債等債券償却

■ 開示債権の状況

○ 不良債権は平成21年3月末に比べ1,355百万円減少しております。

(1) 金融再生法ベースの債権区分による開示

単位：百万円

区分	21年12月末(A)	21年3月末(B)	増減 (A)-(B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,695	4,208	△ 1,512
危険債権	1,621	1,681	△ 60
要管理債権	225	7	218
小計	4,541	5,897	△ 1,355
正常債権	65,877	69,040	△ 3,163
合計	70,419	74,938	△ 4,518

(注1) 3月末の自己査定をベースとして、簡便的な債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になった債権および期間中の回収額を反映させております。

(注2) 貸出金のほか債務保証見返(代理貸付等に伴う保証)、未収利息および与信に関連する仮払金を含めております。

(2) 開示債権区分毎の保全状況

単位：百万円

区分	21年12月末(A)	担保・保証による保全(B)	貸倒引当金(C)	(A)-(B)-(C)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,695	695	1,999	—
危険債権	1,621	1,401	216	3
要管理債権	225	169	53	1
小計	4,541	2,266	2,270	5
正常債権	65,877			
合計	70,419			

(注1) 担保・保証による保全(B)には、3月末から基準月末における担保劣化あるいは保証の見直し等に伴う変動額を反映させております。

(注2) 貸倒引当金(C)は3月末から基準月末の間で債務者区分の下方変更および担保・保証の見直しに伴って発生する必要額を見積もった額で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」について個別貸倒引当金を、また、要管理債権については貸倒実績率に基づき算定した一般貸倒引当金を計上しております。

※ 記載金額は単位未満および比率は小数点3位以下を切り捨てて表示しております

■ 自己資本の状況

- 21年12月期の「自己資本総額」は10,395百万円、「自己資本比率」は17.41%となりました。
 「自己資本総額」が期中の利益相当額積み増しにより336百万円増加した一方、「リスク・アセット等」は貸出金の減少を主因として1,407百万円減少しており、「自己資本比率」は0.96ポイント上昇しました。

	21年12月末(A)		21年3月末(B)		増減(A)-(B)
自己資本比率(①÷②)×100	17.41%		16.45%		0.96
自己資本総額 ……①	10,395		10,058		336
基本的項目計	10,522		10,176		345
補完的項目計	373		381		△ 8
控除項目計(△)	500		500		-
リスク・アセット等……②	59,704		61,111		△ 1,407
オン・バランス項目	54,735		56,172		△ 1,437
オフ・バランス取引等項目	301		272		29
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	4,666		4,666		-

単位：百万円

■ 主要勘定の状況

- (1) 預金 139,843百万円 (年度初来 4,969百万円の増加)

- 預金は、個人預金で減少が見られたものの、公金預金で地方公共団体の交付税交付金等の高額滞留等により増加となった他、法人・金融機関預金も増加したことから、総体では前期末対比で4,969百万円の増加となりました。

◇預金人格別の状況

	21年12月末(A)		21年3月末(B)		増減(A)-(B)
一般預金	124,453		123,848		604
個人預金	104,762		105,485		△ 723
一般法人預金	19,690		18,362		1,327
公金預金	14,937		10,714		4,223
金融機関預金	452		311		140
合計	139,843		134,873		4,969

単位：百万円

(注)預金は譲渡性預金を含みます。

- (2) 貸出金 69,876百万円 (年度初来 4,689百万円の減少)

- 貸出金は、卸売業・林業で若干の増加が見られたものの、地方公共団体の借入金返済等のほか、製造業及び建設業においても地元大手企業とその関連企業の倒産に係る影響を受けて大きく減少しました。

また、個人においても住宅ローンやアパートローンの需要低迷等による減少が見られ、総体的に前期末対比で4,689百万円の大幅減少となりました。

◇貸出金業種別の状況

	21年12月末(A)		21年3月末(B)		増減(A)-(B)	
	先数	金額	先数	金額	先数	金額
製造業	103	5,127	110	6,561	△ 7	△ 1,434
農業	4	8	5	12	△ 1	△ 4
林業	12	503	11	336	1	167
漁業	5	30	8	29	△ 3	1
鉱業	0	-	1	11	△ 1	△ 11
建設業	245	6,562	251	7,736	△ 6	△ 1,174
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	0	-	0	-
情報通信業	1	385	1	422	0	△ 37
運輸業	34	821	35	863	△ 1	△ 42
卸売業	37	2,465	39	2,274	△ 2	191
小売業	194	5,163	203	5,344	△ 9	△ 181
金融・保険業	11	2,286	10	2,314	1	△ 28
不動産業	286	18,080	286	18,726	0	△ 646
各種サービス業	299	12,255	306	12,497	△ 7	△ 242
地方公共団体	11	4,625	11	5,082	0	△ 457
個人	3,714	11,560	3,932	12,353	△ 218	△ 793
合計	4,956	69,876	5,209	74,566	△ 253	△ 4,689

単位：百万円

※ 記載金額は単位未満および比率は小数点3位以下を切り捨てて表示しております

(3) 有価証券

○ 有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種のリスクに配慮した安全な運用に努めており、12月末における有価証券の保有状況は以下の通りであります。

◇満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位：百万円

	21年12月末			21年3月末
	償却原価	時価	差額	差額
国債	13,312	13,804	491	314
政保債	2,498	2,568	69	50
金融債	1,000	990	△ 9	-
外国証券	1,500	1,356	△ 143	△ 223
合計	18,311	18,719	407	141

◇その他有価証券で時価のあるもの

単位：百万円

	21年12月末					21年3月末	
	取得原価	時価	評価差額	評価差額		評価差額	
				うち益	うち損		
国債	8,492	8,531	39	114	75	△ 64	
地方債	406	412	6	6	-	7	
社債	政保債	1,728	1,783	55	55	0	37
	金融債	6,340	6,446	106	109	3	△ 92
	事業債	300	301	1	1	-	2
その他	投資信託	1,097	929	△ 168	17	186	△ 283
	優先出資証券	343	267	△ 76	-	76	△ 132
合計	18,708	18,671	△ 37	304	341	△ 524	

◇時価のない有価証券

その他有価証券 非上場株式 5,550千円
投資事業有限責任組合出資金 14,325千円

トピックス

○ 地域貢献活動等のご紹介（平成21年4月から12月まで）

地域の皆さまに少しでもお役に立つため、各地域で行われている諸行事に積極的に参加・参画をさせていただいております。

□ 環境への取組

- ・各地区で行われた「クリーンアップ作戦」「かもめ島クリーン運動」「千軒・三岳の国道パーキングクリーン作戦」「福山町内会清掃ボランティア」「北斗市主催海浜クリーン作戦」へ参加し町内・海水浴場等の一斉清掃を行いました。（本店・上ノ国・熊石・福島・奥尻・松前・七重浜支店）
- ・函館市が企画した「大森浜海岸」の清掃作業へ参加し、併せて支店独自に店周を5ブロックにわけ空缶・ペットボトル・吸殻等の清掃作業を実施しました。（函館支店）

□ 地域行事への参加

- ・「夫婦の手紙全国コンクール」の審査員の他に表彰式の手伝いをしました。（松前支店）
- ・お祭りをはじめ各種イベントに積極的に参加しております。（全店）
- ・各町の交通安全協力会等と共に安全運転を訴え“秋の交通安全運動”に参加しました。（本店・上ノ国・熊石・厚沢部・福島・松前支店）
- ・商工会青年部主催による町内の小学生を対象としたキャンプ「大千軒Gキャンピング」の手伝いをしました。（福島支店）
- ・町内医師による「ふくしま健康フェスティバル」開催時、健康相談等の受付・案内係の手伝いをしました。（福島支店）

□ 文化活動

- ・「福島フォトサークル」に活動発表の場としてロビーを開放しました。（福島支店）
- ・「まつまえ日向葵の会」による、絵手紙作品の展示場所としてロビーを開放しました。（松前支店）
- ・江信会が苫小牧市発明研究会“会長西川辰美氏”を招き、「地域活性化と発明」と題した文化経済講演会を実施しました。（函館・七重浜支店）



□ スポーツ振興への支援

- ・「道南地区ソフトバレー大会」「桧山管内ソフトバレー大会」に審判団の一員として参加しました。（上ノ国支店）
- ・江差しんきん年金友の会 各支部による「パークゴルフ」「ゲートボール」大会を開催しました。（本店・熊石・厚沢部・福島・松前支店）
- ・「桧山中学校野球大会」「江差信金杯道南軟式少年野球大会」にスタッフ・審判団の一員として参加しました。（上ノ国・厚沢部支店）

□ 寄付

- ・「桧山南部ふれあい船の旅実行委員会」が主催する「福祉の集い ふれあい船の旅」へ寄付を行いました。（本店営業部）
- ・各地区で行われる祭りや行事に寄付を行いました。（全店）

□ その他

- ・町の目指すべき将来像とそれを実現するための「上ノ国町総合計画策定審議会」に委員として参加しました。（上ノ国支店）
- ・青少年教育の一環として小中学生の「職場見学」「職場体験」を受入れ金融機関の仕事体験に協力しました。（乙部・厚沢部支店）
- ・江差警察署生活安全課による町内会対象の「振込め詐欺」防止キャンペーンを店頭にて実施。来店客へ周知しました。（厚沢部支店）

※ 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております